

平成17年7月15日

交通安全施設 設置要望書

千葉県公安委員会委員長 志村 征一 様
千葉県警本部 本部長 山浦 耕志 様
(写)市原市長 佐久間 隆義様
(写)市原市教育長 山中 齊 様

乙月自治会会長 前田 延明
霜月自治会会長 石本 正道
水の江小学校校長 薄 秀道
水の江小学校PTA会長 水上 佳明

通学路等に関し、下記の通り、信号機設置を要望致します

1：要望施設名

信号機、または押しボタン式信号機

2：設置要望箇所

市原市ちはら台東9丁目バレエ教室前交差点（別紙、要望箇所地図添付）

3：要望内容

市原市ちはら台東-9丁目バレエ教室前交差点において、児童の通学路になっているにもかかわらず、自動車のスピードの出しすぎ、セブンイレブン側からの上り坂において見通しが悪く、歩行者の発見が遅れる等の理由により、安全な歩行が困難となっております。また、この件に関しましては昨年引き続き、要望書を提出させて頂きます。当該地域は新興住宅地で学童数も急増しておりますが、交通量も瀬又方面からの抜け道として、また東6～8丁目の住宅の急増による車両の増加等で激増しています。地域住民においても安全確保に対する不安が日ごとに強くなってきております。学童歩道として、また住民の安全確保の為・交通事故防止のため、早急に信号機を設置くださるよう強く要望致します。

4：学童数調査状況及び今後の予測

当該地区の世帯主は20代後半～30代中頃が大半で、その子供たちは0～10才。特に5才以下の乳幼児に集中している。そのため、学童の数は年々急速に増え続けている。2年後には100名を越え、平成22年の241名をピークに、10年間続く見込みである。又、前述の通り、比較的若い世代が多いため、今後新生児が産まれる可能性が高く、又この地区は現在盛んに分譲が行われており、今後とも更に学童が急激に増える可能性は非常に高い。

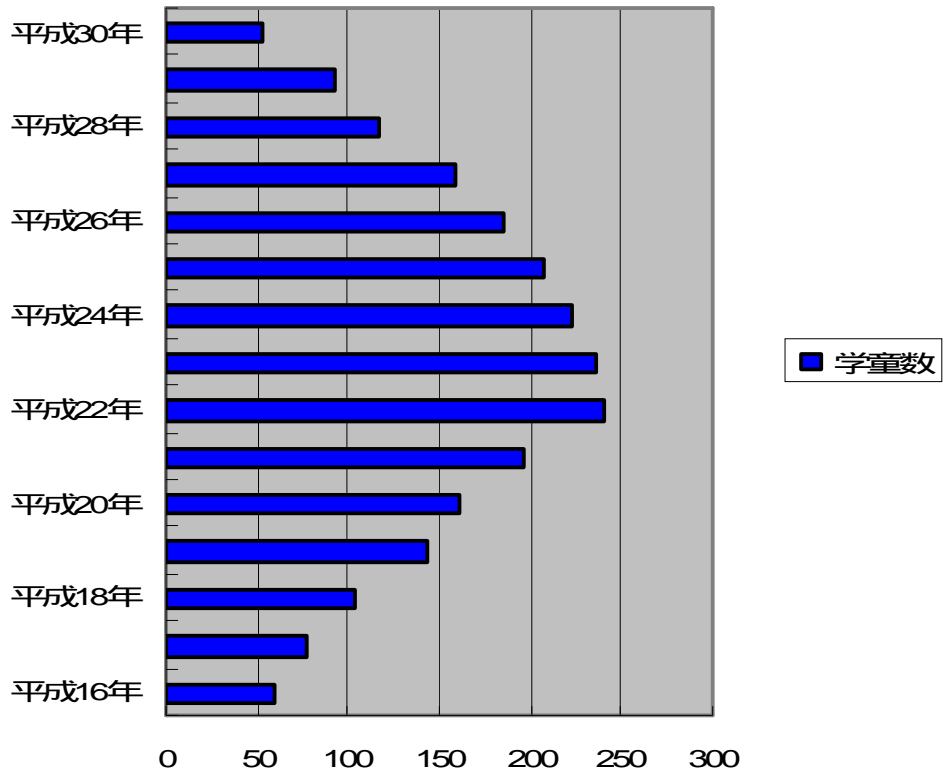
一方、この道路しか車での交通手段がないちはら台東6～8丁目の宅地は現在、殆どが未分譲地になっているが、今後住宅が大量に建設され、人口が増えるとともに車両の増加、交通量の増加が見込まれ、危険度が益々増えていくと予測される。

以上

【添付】

- * 学童数予測、年齢別人数
- * 設置場所付近地図

学童数予測



年齢別人数

